

大学院 通信教育課程 児童学研究科 論文指導教員紹介

※2024年度については変更となる場合があります。

※**後**は後期課程の指導を担当する教員

小野瀬雅人 おのせ まさと 教授 **後**



○プロフィール 1987年筑波大学大学院博士課程心理学研究科単位取得退学。教育学博士(筑波大学)。2014年本学に着任。日本教育心理学会代議員、日本教科内容学会理事。主な著書は『教科心理学ハンドブック』(共編著)、『学校心理学ハンドブック第2版』(共編著)、『教育・学校心理学』(編著)など。

【専門・研究分野】 教授学習心理学。教科学習の効果的指導や授業を構成する諸要因の解明とそれに基づく授業デザインに関する実証的研究。

大成哲雄 おおなり てつお 教授



○プロフィール 1994年東京芸術大学大学院美術研究科修了。美術学修士。「大地の芸術祭」などの国際展や「アートパーク」や「松戸アートビクニック」など地域のアートプロジェクトを多数企画し実施。アートと教育の実践研究を行っている。2005年本学に着任。主な著書は『美術の授業のつくりかた』(共著)、『実践事例にみるひと・まちづくり』(共著)など。

【専門・研究分野】 美術、美術教育。

金 瑠淑 きむ ひよんすく 准教授



○プロフィール 1993年筑波大学大学院修士課程地域研究研究科地域研究専攻修了。修士(地域研究)。筑波大学大学院博士課程教育学研究科単位取得満期退学。2010年本学に着任。日本カリキュラム学会会員、日本児童英語教育学会会員、韓国日本教育学会国際理事。主な著書は『異文化間コミュニケーションの視点からみた小学校の英語カリキュラム—その意義と問題点—』(単著)など。

【専門・研究分野】 小学校英語カリキュラム開発、カリキュラム研究、日韓比較研究、小学校英語教員養成カリキュラム開発。

腰川一恵 こしかわ かずえ 教授 **後**のみ



○プロフィール 2003年筑波大学大学院博士課程心身障害学研究科修了。博士(教育学)(筑波大学)。保健所の心理相談員、特別支援学校教諭などを経て、2005年本学に着任。日本発達障害学会評議員、日本発達障害支援システム学会評議員。主な著書は『一人ひとりのニーズに応える保育と教育』(共著)など。

【専門・研究分野】 知的障害児の遊びの発達や支援、特別支援教育コーディネーターの養成に関する研究。

坂本紀子 さかもと のりこ 教授 **後**



○プロフィール 1998年早稲田大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学。博士(文学)(早稲田大学)。北海道教育大学教授を経て、2023年聖徳大学に就任。主な著書は、単著『明治前期の小学校と地域社会』、共著『教育の制度と社会』、共著『近代日本黎明期における「就学告諭」の研究』、共著『近・現代日本教育会史研究』、共著『教育史研究の最前線II』など。

【専門・研究分野】 日本教育史、日本地域教育史、学校と地域社会の関係史。

沢崎真史 さわざき まふみ 教授



○プロフィール 上智大学大学院文学研究科教育学専攻博士前期課程修了。文学修士。上智大学などを経て、1999年本学に着任。日本心理臨床学会などの会員。主な著書は『学生のための心理相談』(共著)など。

【専門・研究分野】 思春期・青年期におけるキャリア発達に関する研究、保育者養成におけるコミュニケーションに関する研究。不登校支援に関する研究。

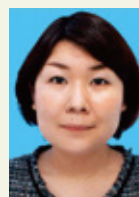
有働玲子 うどう れいこ 教授 **後**



○プロフィール 1978年東京学芸大学大学院教育学研究科国語科教育修士(教育学)。兵庫教育大学連合大学院博士課程言語系修了博士(学校教育学)。公立高等学校教諭、東京都立中学校教諭、東京学芸大学非常勤講師等。1991年本学着任、文部省中学校国語指導資料作成協力者、国立教育政策研究所研究員等。単著『声の復権—教室に読み聞かせを!』、『話しことば教育の実践に関する研究』、編著『子どものことばをばくむ国語・音声・読書の指導』など。

【専門・研究分野】 国語科教育学、話しことば教育の実践研究分野(全国大学国語教育学会・日本国語教育学会・解釈学会・日本文学協会・読書学会・日本子どもの本研究会)。

奥村典子 おくむら のりこ 教授 **後**



○プロフィール 2012年お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科博士課程修了。博士(社会科学)。お茶の水女子大学RF、関東短期大学講師を経て、2016年より現職。日本教育学会、日本保育学会などの会員。主な著書は『動員される母親たち』(単著)、『保育・教育課程総論(改訂版)』(共著)、『保育原理—はじめて保育の扉をひらくあなたへ—』(共著)など。

【専門・研究分野】 近代日本の教育および保育制度・政策の研究。

黒澤寿美 くろさわ すみ 教授 **後**



○プロフィール 2018年聖徳大学大学院児童学研究科児童学専攻博士後期課程修了。博士(児童学) 横浜市立小学校教諭 保育士養成校講師 幼稚園園長 私立中学・高等学校長を経て2022年本学に着任。主な著書『やったね先生～幸せな教師になる方法』(単著) 『保育実践に生かす保育内容「環境」』(共著)など 日本数学教育学会会員

【専門・研究分野】 小学生が算数の問題を解くときの思考過程に着目した研究、幼小連携、幼児期の学びと児童期の学びのつながりについての研究。

齋藤 有 さいとう ゆう 准教授



○プロフィール 2014年お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科博士後期課程修了。博士(人文科学)。(株)ベネッセコーポレーションこどもちゃれんじモニター調査員やルーツ学院大学院総合人間学部助教などを経て、2015年本学に着任。日本発達心理学会などの会員。主な著書は『子ども家庭支援の心理学』(共著)など。

【専門・研究分野】 専門は発達心理学。主に絵本を介した親子の相互作用の観察調査や、親の絵本選択に関する質問紙調査から、絵本を介して親子の関係がどのように発達するかに着目、研究している。

相良順子 さがら じゅんこ 教授 **後**



○プロフィール 1999年お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士課程修了。博士(人文科学)。お茶の水女子大学助手を経て2001年本学に着任。日本発達心理学会などの会員。主な著書は『子どもの性別態度の形成と発達』(単著)、『保育の心理学』(共著)、『発達心理学と臨床』(共編著)など。

【専門・研究分野】 生涯発達心理学・乳幼児の対人行動の発達に関する研究、幼児から児童期の性別役割の発達、思春期の自己概念、中年期の幸福感に関する研究。

清水一彦 しみず かずひこ 教授 **後**のみ



○プロフィール 東京教育大学教育学部・大学院修士課程、筑波大学大学院博士課程教育学研究科。博士(教育学) [筑波大学]。筑波大学副学長・理事、山梨県立大学理事・学長、山梨大学理事・副学長を経て、2023年本学に着任。主な著書『米の大学単位制度の比較的研究』(単著)、『平成の大学改革を斬る』(単著)、日本教育制度学会会長。

【専門・研究分野】 教育制度学研究、高等教育の研究。

須田 仁 すだ ひとし 准教授

○プロフィール 1996年東洋大学大学院社会学研究科博士前期課程修了。修士(社会福祉学)。専門学校講師などを経て、2003年本学着任。柏市高齢者健康福祉専門部会長、狛江市居住支援協議会会長などを務める。主な著書は『保育者のための社会福祉概論』『在宅医療辞典』(共著)など。



【専門・研究分野】 保育者のための社会福祉、被災地におけるソーシャルワーカー支援、児童虐待、ダブルケア。

中館 尚也 なかだて ひさや 教授(後のみ)

○プロフィール 2004年医学博士(北海道大学)。北里大学医学部准教授、国立成育医療センター診療部長などを経て、2022年4月本学着任。日本小児血液・がん学会評議員、国際小児がん学会会員、日本小児科学会会員、日本癌学会会員、米国血液学会会員。主な著書は、『小児科診療ガイドライン 第5版』(共著)、『一人ひとりのニーズに応える保育と教育』(共著)など。



【専門・研究分野】 発達障害・知的障害者の行動特性、小児悪性腫瘍の分子遺伝学研究。

長江 曜子 ながえ ようこ 教授

○プロフィール 明治大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得満期退学。共立女子大学大学院家政学研究科人間生活学専攻後期課程修了。博士(学術)。博士論文は『人間の死後生活空間としての墓地の永続管理の研究』。主な著書は『欧米メモリアル事情』(単著)、『平野謙研究(正宗白鳥)』(共著)、『世界のお墓文化紀行』(監修)など。



【専門・研究分野】 生涯学習、特に地域連携・まちづくりに関する研究。日本と世界の葬送文化研究(比較葬送文化研究)、葬送文化を視座とした児童文化財としての絵本の研究(いのちの大切さを伝える)。

西園 政史 にしぞの まさし 准教授

○プロフィール 2013年兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科博士後期課程修了。博士(学校教育学)。保育園、幼稚園、小学校や地域住民に対するワークショップを多数実施。2015年本学に着任。主な著書は『図工・美術教育へのアプローチ 造形教育の手法 えがく・つくる・みる』(共著)など。



【専門・研究分野】 幼児造形・美術教育、教科教育(図画工作・美術)、教育哲学、美術と学校・社会とのつながりに関する研究。

初鹿 静江 はつしか しずえ 准教授

○プロフィール 2013年大正大学大学院人間学研究科福祉臨床心理学専攻博士後期課程修了。博士(人間学)。港区、銀行、電力会社などに保健師として勤務後、順天堂大学などを経て2013年に本学着任。日本小児保健協会、日本保育保健協議会、日本保育学会、医療保育学会などの会員。主な著書は、『シードブック 子どもの健康と安全』(共著)など。



【専門・研究分野】 子どもの保健、母子保健、子どもの健康と安全に関する研究。

祓川 摩有 はらいかわ まゆ 准教授

○プロフィール 2013年日本女子大学大学院人間生活学研究科人間発達学専攻博士課程修了。博士(学術)。管理栄養士。2013年本学着任。日本小児保健協会、日本保育学会などの会員。主な著書は『発育期の子どもの食生活と栄養』『栄養教育論』(共著)など。



【専門・研究分野】 子どもの食生活・食育、食育を通じた乳幼児の保護者支援。

東原文子 ひがしばら ふみこ 教授(後のみ)

○プロフィール 1993年筑波大学大学院修士課程教育研究科障害児教育専攻修了。筑波大学助手、聖徳大学講師、筑波大学講師を経て、2010年聖徳大学に戻る。博士(心身障害学)(筑波大学)。公認心理師、特別支援教育士SV、学校心理士SV、臨床発達心理士。主な著書は『発達障害の理解と支援のためのアセスメント』(共著)など。



【専門・研究分野】 知的障害児や発達障害児の心理・教育的アセスメント。典型発達児や障害児へのICT等を活用した学習指導に関する教育心理学的研究。

深津 さよこ ふかつ さよこ 准教授

○プロフィール 2021年東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科学校教育学専攻博士課程修了。博士(教育学)。公立保育士を経て、2015年本学着任。日本保育学会、日本乳幼児教育学会などの会員。主な著書は『シードブック子ども家庭支援論』『ワークで学ぶ乳児保育Ⅰ・Ⅱ』(共著)など。



【専門・研究分野】 乳児保育、地域子育て支援、在宅子育て支援。

増井 三夫 ますい みつお 教授(後のみ)

○プロフィール 1975年東京教育大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学。教育学博士(筑波大学)。主な著書は『プロイセン近代公教育成立史研究』(単著)、『公共性・ナショナリズムと教育』(共編著)、『教育実践学の構築』(共著)、『教育実践から捉える教員養成のための教科内容学』(共編著)など。



【専門・研究分野】 社会における人間形成の歴史社会学研究、多様な社会的実践の質的・量的研究、教科内容学の研究。

宮川 三平 みやかわ さんぺい 教授(後のみ)

○プロフィール 1973年東京慈恵会医科大学医学部卒業。医学博士(東京慈恵医科大学)。日野市立病院・副院長などを経て、2006年本学に着任。日本小児科学会などの会員。主な著書は『子どもの食と栄養』(共著)など。



【専門・研究分野】 子ども達の健康(特に心の健康)と食生活習慣との関連についての研究。子ども達のすこやかな成長・発達に必要な栄養学上の諸問題に関する研究(肥満、食の安全など)。

森 貞美 もり じよんみ 教授

○プロフィール 2001年筑波大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学。修士(教育学)。東京成徳大学を経て、2005年本学に着任。日本教育経営学会、日本比較教育学会、日本教師教育学会などの会員、国際幼児教育学会副会長。主な著書は『現代学校教育論』(共著)など。



【専門・研究分野】 教育経営学、比較教育、教師教育。学校の組織文化に関する研究、校長のリーダーシップ、教員養成、幼稚園評価に関する日韓比較研究など。

藪中 征代 やぶなか まさよ 教授(後のみ)

○プロフィール 2003年聖徳大学大学院児童学研究科博士後期課程修了。博士(児童学)。文部省メディア教育開発センター特別共同利用研究員を経て、2003年本学に着任。主な著書は『朗読聴取に関する教育心理学的研究』(単著)、『子どもの理解と援助』(共編著)、『子ども家庭支援の心理学』(共編著)など。日本教材学会常任理事。



【専門・研究分野】 教育心理学、言語心理学、教科教育学。乳幼児期を起点とした相互作用の縦断研究等を通して、個人の発達や心理、保育の場における相互作用の在り方、子ども観、表現の形成過程などの研究。

山崎 奈々絵 やまざき ななえ 教授(後のみ)

○プロフィール 2010年お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程満期退学。博士(社会科学)。東海大学課程資格教育センターなどを経て、2014年本学に着任。教育史学会、日本教師教育学会、日本教育方法学会などの会員。主な著書は『戦後教員養成改革と「教養教育」』(単著)など。



【専門・研究分野】 日本教育史、教師論、教育制度、教育政策。

横井 葉子 よこい ようこ 准教授

○プロフィール 2020年大阪府立大学大学院人間社会学研究科博士後期課程満期退学。修士(社会福祉学)。神奈川県教育委員会などのスクールソーシャルワーカーを経て、2020年本学着任。東京都教育委員会などのスクールソーシャルワーカースーパーバイザーを務める。主な著書は『エビデンスに基づく効果的なスクールソーシャルワーク』(共著)など。



【専門・研究分野】 スクールソーシャルワーク、学校における子ども虐待の予防とケア、不登校児童と家庭への支援。